

不易と流行

●挨拶・返事 ●言葉遣い ●身だしなみ ●笑顔 ●感謝

文責 三宅 智

●学びを外に向けていこう【科学と人間生活・3年生】

国際流通科3年生の「科学と人間生活」という授業の様子です。桜の木の下で生徒たちが話に聞き入っています。植物についての説明も、実際に本物を見ながら授業を受けることで、普段の授業とは違う印象を受けたのではないのでしょうか。また、スマートフォンを活用して、植物の写真を撮ることでその名前や特徴が検索できるとのこと。実地体験とデジタル活用の両方が生かされている授業でした。これからの新一年生については、タブレットを購入しているので、デジタル機器を活用する授業が少しずつ増えていくかもしれませんね。

理科の授業のみならず、商業の授業でも外に目を向けていく必要があります。3年生では「課題研究」という授業に取り組みます。1・2年生までの授業では、基礎的な科目で理解を深めたり、検定の取得にも挑戦したりしましたが、実際に学んだことを生かす場面が「課題研究」という授業です。知識として学んだことを、仕事の場で対応できるようにアレンジしてください。また、グループワークを通じて人と対話したり調整したりするコミュニケーション能力を身につけて欲しいと思っています。今までの先輩達は、主に地元企業との商品開発や、販売促進を中心に活動してきましたが、今後はコロナ禍で苦戦している観光業についてもぜひとも挑戦しましょう。



●身だしなみの基本は「そのままの格好で進路活動ができる」こと

4月後半から5月にかけての大型連休も終わりましたが、みなさんの身だしなみはきちんと整っているでしょうか。国際流通科の生徒は、千歳高校全体の身だしなみ検査だけではなく、他にも意識して欲しい基準があります。それが「そのままの格好で進路活動ができる」というものです。学校生活を送っているどのタイミングでも、進学や就職の面接に行ける状態であることが大切です。（ただし、普段の外靴に関してはスニーカーなどで大丈夫です）実際の面接に行く場合には、外靴も黒系の革靴を準備します。頭の前からつま先まで、全身を見られているという意識を常に持つてもらえると嬉しいです。一人一人が千歳高校の国際流通科を担っていると感じ取ってくださいね。

「世の中の人達はもっと自由な服装で暮らしている」「制服にもっと自由があってよい」「細かく指定しすぎるのはブラック校則なのではないか」というような、制服の着こなしに対する世の中の若者の意見を、インターネット上で最近よく目にします。もちろん、中には極端な服装のルールが残っている学校もあり、疑問を持つことも大切です。ただ、世の中の人達は服装に関わるルールを守っている人の方が多いと思います。制服の着用が義務化されている職業の人達が、わざと着こなしを崩しているようには見えません。多くの仕事で、その状況にあった服装や制服があり、ルールに基づいて身だしなみを整えています。職業学科の学生生活では、そういった社会のルールやマナーに順応することを大切にしています。国際流通科は「商業の学科」ですので、服装におけるビジネスマナーも大切にしているということを覚えておいてください。



●令和3年度卒業生 進路状況分析③「就職・公務員編」

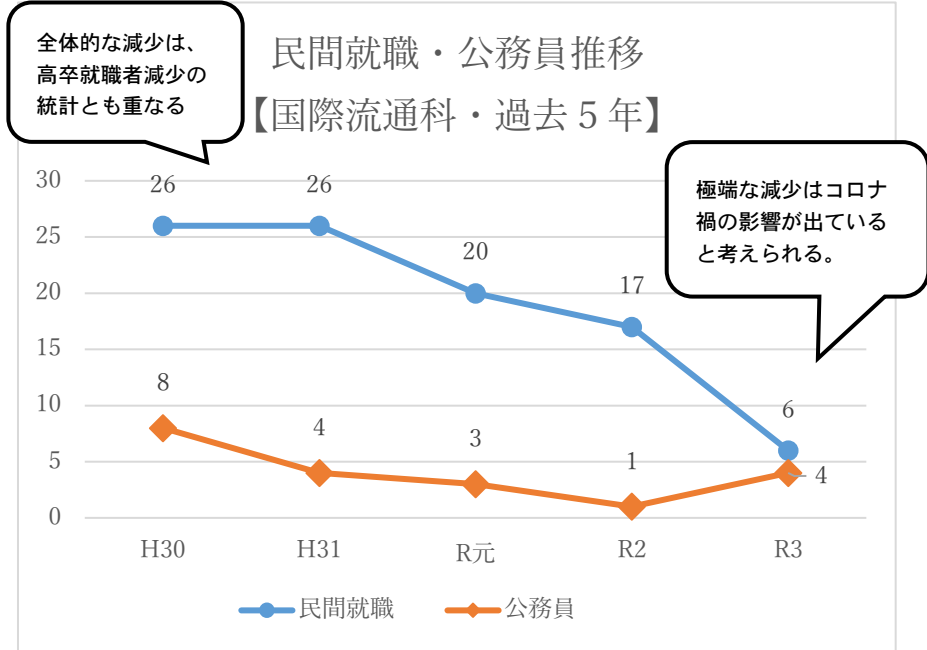
「千歳高校の国際流通科は就職に強い」というイメージを持っている生徒も多いかも知れませんが、昨年度についてはコロナ禍ということもあり、民間就職の希望者数は多くありませんでした。また、過去5年間の千歳高校の就職を果たしている生徒たちの数も、コロナ禍という影響に関わらず緩やかな減少傾向にあります。

文部科学省の統計を見ると、高等学校を卒業した生徒の大学進学率や専門学校進学率が上がっていることもあり、高卒時点での就職希望者が減っているという現状があります。（ただし、専門学科については、就職希望者の割合が一番多い結果になっています）また、コロナ禍における全般的な求人数の減少、この地域特有の状況としては新千歳空港の運行便の減少による空港関連職種の求人の減少、観光の打撃による求人の減少などもあるのかもしれませんが、希望者数の増減に関わらず、商業の学科である国際流通科として就職する生徒へのサポートはとても大切です。入学後よりスタートしているビジネスマナー教育や、商業に関わるカリキュラム、検定取得への取り組みは、きっと進路実現の役に立ちます。生徒のみなさんはぜひとも自信をつけて就職試験に臨んでください。地元企業に必要とされる人材として成長し、卒業後も活躍して欲しいと思います。

民間就職を目指す生徒は、夏休みの前くらいから書類（履歴書・志望理由書・作文など）の準備を進めます。夏休み中には面接練習を繰り返しましょう。夏休みが明けた頃には、書類の整備が終わり、9月初旬には企業へ書類の送付を行います。その後、毎年9月16日の就職解禁日より試験が開始されます。具体的な動きについては、進路指導部就職担当の先生より確認されますが、求人票を探したり、企業説明会に参加したり、志望理由をまとめたりするなど、やらなければいけないことがたくさんあります。早めの動き出しができるよう心がけましょう。

令和3年度国際流通科卒業生（就職者一覧）	
民間就職	
日本デジタル研究所	2名
株式会社タスク（クイーンズホテル）	1名
株式会社ビックカメラ	1名
KCC(LeTAO)	1名
西鉄エアサービス	1名

公務員試験合格者（決定分のみ）	
自衛隊（一般曹候補生・空）	2名
北海道警察	1名
由仁町職員 北海道職員一般行政B区分	1名
（合格者数降順・五十音順）	



また、昨年度の国際流通科卒業生の中から、公務員試験に合格した生徒は4名いました。試験対策としては、模試や、面接試験の練習等、公務員試験に特化した取り組みが必要となります。必要に応じて、夏休みなどの期間に、予備校などの特別講座（夏季講習）などを利用している生徒もいます。1次試験は、基礎的な学習が必要となります。受験科目を確認し、計画的に取り組まなければ合格することができません。模試の結果を分析し、苦手な分野への対策も必要になります。公務員試験の種類によっては、適性試験や性格検査などの対策や練習も必要になります。就職・公務員ともに早めの動き出しが大切となりますよ。希望者は計画的に行動しましょう。